

【教育目標】創造・自律・共生 令和7年度重点目標：互いを認め合い、ともに輝く生徒

原一中だより

入学式が行われました

4月7日（月）に、97名の新入生を迎えて入学式が行われました。初々しい新入生の姿を見ると、2年生の成長に気づき、3年生の貫録に驚きます。桜の花開く穏やかな日に行われたあたたかい入学式でした。



厳かな雰囲気で行われました



準備してくれた先輩にも感謝！

楽しいってどういうこと？

原町一中は、生徒の「ひとみ輝く」楽しい学校づくりを目指しています。式辞では、この「楽しい」について掘り下げてお話しました。内容を以下に紹介します。

…さて、今日は、記念すべき皆さんへの初めてのお話として「楽しいって何だろう？」という話をしたいと思います。

皆さんの中には、楽しいって、笑ったり、喜んだり、そういうことでしょうか？と思う人がいるかもしれません。しかし、これがなかなかどうして奥が深いのです。

今時は何でもAIが教えてくれるので、私も聞いてみました。すると、喜びや満足するといった基本的な意味とともに、「楽しい」と感じることは人それぞれであるとの回答でした。

次に、辞書を引いてみました。すると楽しいには、「楽」という字と愉快の「愉」という字があることがわかりました。この違いが気になった私は、漢和辞典で、またいろいろと調べました。

すると、愉快の「愉」の字は、体の一部を刀で割いて患部から膿をだす。という意味と「心」という意味が合体して、できていることがわかりました。

つまり、心の中の悩みや苦しみ、不安を乗り越えて、晴れ晴れとした気持ちになることを意味しているのです。

私が、皆さんに三年間で期待することもまさにこのことで、ただ笑顔ばかりの三年間ではなく、時には不安や辛い経験もするでしょう。苦しい練習も、つまらない勉強もあるでしょう。でも、それを乗り越えて、初めて味わうことのできる愉しさがああります。努力して、苦勞して身につく、一段上の愉しさを味わう人生の醍醐味。人間が一回りも二回りも大きくなるような経験を、この一中でしてほしい。そう強く思います。

そして、三年後に皆さんが、愉しい中学校生活だったと、晴れ晴れした顔で卒業していく。そんな姿を思い浮かべながら、日々時を積み重ねていきたいと思います。

ただし、この学校は、生徒が主役の学校です。先生が楽しいことを与えてくれると期待するより、自分でどうすれば愉しくなるか、限られた条件の中でいかに愉しくできるかを、自分で考えて生み出す。そうした姿勢を大事にしたいと思いますし、先生方はそうした皆さんのチャレンジを全力でサポートしたいと思っています。それが、一中のいう「生徒が中心の、たのしい学校」の真髓だと、私は考えています。…